

# JC 見聞録

2010 JANUARY

HANDA JUNIOR CHAMBER INC.

No. 1

◎ 基本理念

継続的な市民参画型社会の構築

◎ 基本方針

市民参画型社会の実践・JCブランディングの確立・共に育む環境づくり  
JAYCEEの資質向上・活気あふれる地域未来の創造

◎ スローガン

貫徹



2009年度の7月例会では、静岡県湖西市をスタートし、豊橋・蒲郡をとおり、ゴールの半田勤労福祉会館まで、2泊3日で71 kmの長い道のりを、小学生・中学生を中心に全員が歩ききりました。

新年のごあいさつ

社団法人 半田青年会議所  
第47代理事長

## 伊奈利信



新年明けましておめでとうございます。

日頃より、社団法人半田青年会議所に格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、創立45周年の節目を迎え、先輩諸兄が築かれた歴史と伝統を振り返ると同時に、JAYCEEとしての果たすべき使命を明確にすることができました。

今年度は基本理念を「継続的な市民参画社会の構築」、スローガンを「貫徹」と掲げ、協働運動をはじめ、多くの市民の皆様が参加できる事業を積極的に展開し、継続的に地域へ根付く「成果」を求めてまいります。

私たちは、理念や理想を言葉だけで伝えるのではなく、率先して行動する姿勢を示し続けることが最も重要であると考えています。積極的にまちへ出て、多くの市民の皆様と語り向かい合い、この地域の輝く未来をともに考え、ともに行動へ移していくことで、心豊かな人々が暮らす明るい豊かなまちが創造できると確信しています。

最後に、本年も引き続き皆様のご理解とご協力、そして積極的なご参画を心よりお願い申し上げます。また、2010年が全ての皆様にとりまして幸多い年となりますことを心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 役員・委員会紹介

「1人の100歩より、100人の1歩。足並みを揃えて、行こうじゃないか。」

2010年度、私たち社団法人半田青年会議所の理事長所信の最後に掲げられたフレーズです。

この言葉は、私たち半田青年会議所の正会員に対してのみ発せられた言葉ではありません。

本年度、私たちは、愛する地域をよりよくするために、地域の皆様方とともに考え、実践していこうと考えています。そのため、今まで以上に地域の皆様との間で心が響きあえるような魅力的な情報を発信し、事業を計画し、そして実行して参ります。より一層の皆様のご理解とご参加を、心よりお待ちしております。 それでは、2010年度社団法人半田青年会議所の役員、各委員会をご紹介します。

## 役員紹介



理事長  
伊奈 利信



直前理事長  
天木 一貴



顧問  
石川 大介



監事  
今井 広樹



監事  
榎原 考司



副理事長  
新美 伸宏



副理事長  
石崎 伸郎



副理事長  
竹内 辰幸



副理事長  
大岩 正樹



専務理事  
榎原 貴博



JC未来創造室  
担当室長  
橋場 友昭



まちづくり室  
担当室長  
玉置 幸昌



人財育成室  
担当室長  
坂 敬裕



地域創造室  
担当室長  
伊藤 友公

## 委員会紹介



### JCブランディング委員会

私たちの委員会では、広報誌「JC見聞録」の発刊、ホームページの運営管理、メルマガの発行を行うとともに、新入会員の募集を先頭に立って推進していきます。地域の皆様との心の交流を常に念頭におき、青年会議所の活動や意義の発信のみならず、皆様と信頼関係を築き、交流をして、さらには地域の未来をともに考えていただける関係をつくりたいと考えています。よろしくお願ひします!

【委員長】 久世 孝宏

【副委員長】 細井 靖浩

【幹事】 今津 悠見

【委員会メンバー】

池田 康弘 稲熊 直樹 小澤 亨右 榎原 敏満

竹内 雅樹 羽田 将之

### 協働運動委員会

現在、我々のまちには青年会議所の他にも多くの団体や地域組織が地域のため、ひとのためにと様々な活動を繰り広げ、活躍されています。協働運動委員会は行政、市民との連携を更に深め、お互いの立場を尊重し合いながら、対等の立場で協力してまちの将来を考え、継続的な市民参画型の運動を実践し、明るい豊かな社会を築く目標に向かい積極的な活動を行っています。ご支援とご協力をよろしくお願ひします。

【委員長】 河合 長政

【副委員長】 岡田 行雄

【幹事】 杉田 和仁

【委員会メンバー】

福生 耕一 今津 真治 榎本 年克 河北 泰臣

榎原 徹 松田 功介



### 市民参画委員会

市民一人ひとりの地域に対する責任感が問われる現代、私共市民参画委員会では、地域でがんばっている各種団体や地域貢献活動に励む若者たちをはじめ、地域に住む人々が共に手を取り合い、将来に向けさまざまな活動に共に取り組んで行ける仕組みの構築に取り組んでいきたいと思ひます。今年度の取り組みが、将来に残り、継続的なものとなるよう邁進していきますので、よろしくお願ひします。

【委員長】 石川 利行

【副委員長】 鈴木 雅貴

【幹事】 宮原 健太郎

【委員会メンバー】

石川 一佐 金澤 茂明 榎原 康嗣 福本 貴久

増岡 孝充 山本 裕介



### 共育推進委員会

共育推進委員会では、大人が子ども一人ひとりを人間として尊重し、子どもの意見に耳を傾け距離を縮めることによって、お互いに支え合って生きている、お互いがお互いを必要としている存在であることに改めて気付くことができる活動を展開してまいります。それによって、薄れつつある親子の絆や失われつつある地域コミュニティの再生に繋がると考えております。委員会メンバーが一丸となって貫徹の精神で取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

- 【委員長】 近藤 勝美
- 【副委員長】 小川 洋之
- 【幹事】 信岡 徹也

- 【委員会メンバー】
- 木原 敏啓 久村 俊起 榊原 博 澤田 恵典
- 清水 智子 羽山 知希

### 資質向上委員会

当委員会においては資質の向上をテーマのもと活動に取り組んでいきます。まず、我々青年会議所の会員が、あたり前のことをあたり前に行い地域の牽引役として必要な資質を研修やセミナーの実践を通して訓練していきます。次に、我々正会員と同様に地域で活躍する青年に対しても、正会員とともに資質を磨き高められる機会を提供いたします。このような活動に取り組んで行くことで、地域社会にある課題から目を背けることなく問題を感じ何とかしなければと思う人材が育成され必ず地域や組織はよりよくなって行くと考えます。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

- 【委員長】 宮地 重樹
- 【副委員長】 新海 正和
- 【幹事】 家田 兼治

- 【委員会メンバー】
- 大橋 将太 小川 貴英 勝山 俣 増田 学



### 地域活性委員会

このすばらしい知多半島の風土を次世代につなげ、未来に夢が持てる地域となるよう、活気あふれるビジョンを描き、私たちが住むこの地域の現状を再確認し、何が必要なのかを探求していくことが必要だと考えます。そして、地域力とは「人（市民、団体、企業）」であり、地域活性委員会として、地域力を高めるためのきっかけづくりをしていきたいと思います。よろしくお祈りいたします。

- 【委員長】 小山 茂三
- 【副委員長】 永田 尚之
- 【幹事】 大橋 邦次

- 【委員会メンバー】
- 大橋 睦 竹内 芳樹 田村 莖市 中村 晋
- 増田 哲也

### 知多半島委員会

知多半島の英知を結集し、「想いやり」をテーマとした世代間交流活動を行います。様々なイベントを通してお互いに交流を深め合える内容を行います。メンバー一丸となってがんばって参ります。ご支援・ご協力をよろしくお祈りいたします。

- 【委員長】 森田 英夫
- 【副委員長】 服部 利吉
- 【幹事】 内山 馨

- 【委員会メンバー】
- 榊原 賢一 竹内 眞



### 総務委員会

私たち総務委員会は、組織運営の細部まで見直し、その本質を見極め、時代の変化に対応できる仕組みを創造してまいります。そして、総務、財務における定められたルールをしっかりと遵守し、適正かつ円滑な組織運営を行うことにより、各事業が多大な成果を上げることができるよう心がけます。皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 【委員長】 村瀬 実誉
- 【財政担当理事】 森 基晃
- 【副委員長】 榊原 和久 水谷 吉孝
- 【幹事】 岩田 真実

- 【委員会メンバー】
- 岡田 行雄 小川 洋之 新海 正和 鈴木 雅貴
- 永田 尚之 服部 利吉 細井 靖浩



### 私たちの町へえい！ほお！

#### 半田と知多郡の

#### ■半田の由来

昭和12年、亀崎町・半田町、成岩町の合併により誕生した半田市。知多郡役所などがあり行政の上からも、経済・文化の上からも知多半島の中心地たる半田町の名前をそのまま引き継いだ形になったのですが、その「半田」という町名の由来は「半田」という地名の最古の記録は慶長13年（1608年）の検地帳ですが、そのころはまだ「半田」という地名がなかったと推測されています。この地名の由来は「半田」という地名の最古の記録は慶長13年（1608年）の検地帳ですが、そのころはまだ「半田」という地名がなかったと推測されています。

#### ■半田の陸海軍連合大演習

半田が栄えていたことを証明するエピソードももう一つ。明治33年（1900年）3月、半田帯にあり、我が国最初の陸海軍合同の大演習が行われ、大本営軍令に「統監の労を執られた」様子は後に国定教科書にもあげられました。半田地方が大演習の舞台に選ばれたのは、軍事的要所であったことに加え、物資の提供に耐え得る経済力があつたことにもよると言われています。この大演習は、明治天皇、皇族、山県有朋内閣総理大臣を始めとする大臣が半田の地に集結、半田が「日本の首都」となると一口で言えます。明治天皇は、小栗富太郎家に、各大臣もそれぞれ民衆に宿泊し、いわゆるホームステイされました。今でも考えられています。

順正寺にある、徳川頼朝が書いた「尾州智多郡坂田郷」とあり、戦国時代の頃、今の半田のあたりが坂田（はた）郷と呼ばれており、後に「坂を「は」と読むのはた」と変化した説が、ねぼ土、粘土質の土壌「畑田（はた）」この地の地質が粘土質であったため、粘土という意味を持つ「畑」の字を充て「畑田（はた）」と「はた」に変化した説が、ねぼ土、粘土質の土壌「畑田（はた）」この地の地質が粘土質であったため、粘土という意味を持つ「畑」の字を充て「畑田（はた）」と「はた」に変化した説

#### ■尾張藩の財政難から半田の発展へ

徳川の享保の改革に対し、藩主徳川宗春は開放政策をとりました。この結果、尾張藩は後に財政難に陥ります。苦しむ尾張藩は、増収増を担い当時幕府の統制下にあった酒造りの権利（酒権）を譲りかき、幕府の勅定奉行に働きかけをしてきました。これにより、大型船が出入りできる港を持つ半田・亀崎地域から江戸への海運業が見事にマッチングして、半田の地は爆発的な発展を遂げました。正にピンチの後にチャンス有り。タイミングを逃さずに捉え、尽力された先に敬意を表します。



大本営標札



当時の検地帳

自分のため、自分が暮らすまちのため、  
私たちと一緒に活動しませんか！

# 新入会員募集！

- 多くの仲間と出会え、そして一生の友達ができます！
- 一般社会では体験できない場面に思いっきりチャレンジし、感動体験ができます！
- 様々な自己啓発トレーニング、セミナーを体験することができます！

そんなあなたを  
お待ちしております！



## 社団法人 半田青年会議所概要

創立 1965年  
活動エリア 半田市・阿久比町・東浦町  
南知多町・美浜町・武豊町（1市5町）  
対象者 原則として、半田市及び知多郡に居住または勤務する  
満20歳以上40歳未満の品格ある青年  
会員数 75名（H22年1月現在）  
入会金 ￥50,000  
年会費 ￥130,000 ※初年度年会費 ￥60,000

くわしくはホームページで!!

<http://www.handajc.or.jp/>

半田JC

検索

メール会員募集中!

毎月の活動報告やまちの情報などお届けします。  
ぜひご登録下さい。

- 携帯電話から：右QRコードをご利用下さい。
- パソコンから：半田JCホームページよりメール会員募集ボタンをクリック



## 第37回JC青年の船 「とうかい号」乗船者募集!!

『歩み』

君が超えられない壁はない!  
新しい自分に逢いに行こう!

航海日程	2010年6月5日(土)~6月13日(日)9日間
目的地	サイパン島 (アメリカ合衆国自治領北マリアナサイパン)
参加費用	225,000円
募集人数	432人
参加資格	年齢 20~35歳までの男女
主催	社団法人日本青年会議所 東海地区協議会
申込締切	第1次締切 2010年1月30日(土) 第2次締切 2010年2月20日(土) ※但し、定員になり次第締め切らせて頂きます
問い合わせ先	社団法人半田青年会議所 事務局 〒475-0887 半田市御幸町1番地(知多繊維会館3F) TEL 0569-21-7105 FAX 0569-21-4454 Email info@handajc.or.jp
受付時間	10:00~12:00 13:30~15:00(土日・祝日休)



編集発行

社団法人半田青年会議所 JC プランディング委員会  
社団法人半田青年会議所広報誌 JC 見聞録

半田市御幸町1番地 知多繊維会館3F TEL 0569-21-7105  
2010年1月5日発行 (通算431) 印刷: 有限会社 一粒社